

## 令和4年度 自己点検・自己評価報告書(概要)

学校法人 食糧学院  
東京栄養食糧専門学校

大項目	自己点検・自己評価
基準1 教育理念 目的・育人人材像	本校は「専門教育に誇りを持ち、社会から信頼される教育機関を目指すと共に社会から高い評価を得られる学術・技能に優れた人材の育成に努める」ことを教育の理念・目標に掲げ、社会に貢献できる栄養士・管理栄養士の育成に努めている。具体的には「栄養士・管理栄養士が持つべき基本的スキルである調理技術や身体状況に見合う献立作成技術の習得、更には栄養指導、栄養教育に不可欠な他人を思いやる豊かな人間性の涵養」を周知しているところである。
基準2 学校運営	年度当初に策定した事業計画・予算案に基づき運営している。学校の組織の中で、学院本部、調理校、栄養校の部長以上が出席する学院運営会議があり、学校内では課長、科長以上が出席する栄養校の運営委員会、さらには栄養校の運営委員会から1週間後に栄養校の教職員会議を実施している。先に実施した会議での決定事項等を連絡、伝達し、その他朝、週1回の朝礼を実施し、1週間の行事等の確認、意思の疎通、決定、連絡事項を行っている。
基準3 教育活動	<p>職業実践専門課程に相応しいカリキュラムを作成するため、栄養士・管理栄養士のあるべき姿のイメージ像を描き、教育課程編成委員会の提言を尊重すると共に、将来の「就職」も視野に企業・業界団体との連携を図り、企業等が求める人材ニーズを反映させたものとするを心掛けている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期試験の解答を教えてほしい(自分がどこを間違ったか知りたい)</li> <li>② 時間割の発表が遅い</li> <li>③ グループワークのリーダーを指名されて負担。グループ内で決めさせてほしい、もしくは副リーダーが必要。</li> <li>④ 座学の授業で体験授業をやってほしい(農業体験等)</li> <li>⑤ 説明不足、結果を追求していないのではないかな?</li> </ol> <p>【改善のための方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 希望者には公開している。まとめ動画は、視聴期間を延長して試験期間中に確認できる。</li> <li>② 時間割の件、時間割が遅いのは変更して後から変更するのも混乱の基になるので、これからは、慣例にとらわれず決定次第、迅速に告知する。直前になることもあることを了承いただきたい。</li> <li>③ グループ内の話し合いで決定する(おそらく給食のグループを訴えている)</li> <li>④ 課外活動を盛んに行っているため、参加を促す。</li> <li>⑤ 以後注意する</li> </ol>
基準4 教育成果	<p>全ての学生が高い満足度、充実した学校生活を感じて卒業すると共に、卒業生が社会で活躍し貢献することを期待する。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① オンデマンド授業が少なからず影響しているようで、基礎的なところが定着していない。模試を複数使うのはとてもいいと思う。自分でやっていく目標や自己採点、勉強方向、道筋、みんなで合格しようという気持ちが大切。</li> <li>② 全体的にかなりおとなしく受け身の学生が多い。</li> </ol> <p>【改善のための方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 昨年度の国試は79%、他大学軒並み成績を下げた。業者いわく、管理栄養士になるべき能力を持った人が合格するべきということで、難度を上げたとのこと。今年度はガイドラインが改訂するので、まずは基礎固めとして、過去問を反復学習し続けた。</li> <li>② 受け身気質の学生が増加している。教職員側から寄り添う姿勢が重要となる。</li> </ol>
基準5 学生支援	<p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲を喚起し、安心・安全に勉学に励むことができるよう支援体制ならびに施設環境を整えている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① チームズも2分化する。いつも見ていないといけない。情報出すよという先にお知らせがほしい。</li> <li>② 授業料、テキスト代の納期が直前すぎて困る。</li> <li>③ 就職のアドバイスで卒業生パネルディスカッションをやってはどうか。</li> </ol> <p>【改善のための方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① チームズからの情報量が多い。通知の設定などをしてはいるが、できていないことが多くみられる。情報をスリムにした方がいい。チームズに頼りすぎると、勘違いや誤解に繋がるので、対面で伝えるべき内容と使い方を考える必要がある。</li> <li>② 予め、募集要項に教科書代、納入金額を示しているため、そちらを参考にし準備を進めていただきたい。</li> <li>③ オープンキャンパスで卒業生をお招きした際に、希望する学生には面談の時間を設けている。パネルディスカッションは2023年3月に実施した。</li> </ol>
基準6 教育環境	常に充実した施設設備・環境のもと、最高水準の職業実践教育を授け学生の想い・夢・希望を叶えていきたい。普通教室以外、臨床栄養学実習室、第1・第2製菓実習室、第1～第5調理実習室、生理学実験室、衛生学実験室、理化学実験室、給食経営管理センター、給食経営管理実習室(HACCP対応)、栄養教育実習室、視聴覚教室、コンピューター実習室、食品加工実習室、健康体力教育センター(多目的スタジオ・トレーニングルーム)、就職(進路)相談室、図書室、学生ホール、ICTルーム、多目的ホールなどを備えている。

	<p>【現状と問題点】</p> <p>① 設備の備品が壊れていることが多い、冷暖房の設定を守るのもいいが調整させてほしい。</p> <p>【改善のための方策】</p> <p>① 特に冷暖房関係は、耐用年数満期を迎えている。計画的に随時交換している。</p>
<p>基準7 学生の募集と受入</p>	<p>学院本部に学院広報室がある。さらに本校には教員を中心とした広報委員会が組織されており両者が協働一体で学生募集活動を実施している。学院広報室は主に学外での広報活動に従事し、高校訪問や会場ガイダンス等を実施している。一方、学内では学校広報委員会を中心に全教職員をあげてオープンキャンパスをはじめとする学生募集活動を実施している。</p> <p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲ある学生は、是非伝統と歴史と実績のある本校で学んで頂きたい。そのためには、本校のアドミッションポリシーを理解し、真摯な態度で勉学に励む事を望むものである。</p> <p>【現状と問題点】</p> <p>① 大学も同じ割合くらい、取り合っている状況。場所ってというのは変えられないので、どの地域からの学生が減っているのか高校の種類や既卒など分析が必要。</p> <p>② 既卒の割合が多いので、何か専門学校のような自由な部分で特徴を出す必要がある。他と違うという部分をPRできるというのではないか。認知や方向性。</p> <p>③ 受験生に役立つ連載記事。評価が大事、見られているかどうかの評価を行う必要がある。</p> <p>④ HPは高校の先生も見ると。見ている頻度などの分析も必要。入学に関する特待生制度をどうアピールするか。</p> <p>⑤ LINEの活用は？</p> <p>⑥ 定員を少なくするというのはいらないのか？</p> <p>⑦ 卒業生が多いので学校を紹介してもらおう。</p> <p>⑧ 給付金は定員が集まっていなくて出ないのでは？職業実践のアピールが足りない。打ち出し方をハローワークの部分をもっと打ち出した方がいい。制度をよく理解していれば受講生も得をするので、もっとアピールした方がいい。</p> <p>【改善のための方策】</p> <p>① 特に埼玉エリア減。千葉は広報営業担当が退職のため、校長がつなぎとめている。地方はコロナから続く地元志向と不景気からくる進学困難。進学も関所で止まる。高等専修学校、通信制、サポート校が1割超。</p> <p>② 既卒在校生は学校に好意的な印象。HPコメントを発信し続けている。課外活動に積極的に参加、子育てをしながら通学できる環境整備を進めた。既卒限定のOCを実施した。毎回10名弱は参加する。</p> <p>③ 未着手</p> <p>④ 地域貢献についてピックスに挙げている(月1)、卒業生の体験談。→学校から広報に依頼。在校生から母校へ近況報告動画提供。特待生試験想定問題配布をリピーターの特典とした。</p> <p>⑤ QRの読み込みやOCの案内で広報がメインで使っている。(毎回500件直前呼び込み含む)ただし、リールの伸びしろからインスタ中心に移行、TikTokも導入。</p> <p>⑥ 検討中。</p> <p>⑦ 学友会にLINEを導入した。</p> <p>⑧ 新卒とのバランスを考慮し検討する。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>無借金経営であり中期的な財務基盤は安定しているが、校舎等の老朽化により近い将来の建て直しの検討も必要となっている。「充実した教育目標に即した経営基盤の強化」を達成するために、①定員の確保 ②退学率の低下に努力している。</p> <p>・令和4年度の財務情報は、現在HPで公表中である。</p> <p>・教育の部分で不足しているところを、施設貸出などで補っている。</p> <p>・経費として実験実習・授業、次いで奨学金・減免入学・減免費、さらに光熱費の費用がかかっている。実習実験、授業に関する費用については物価・食材費等の価格高騰が懸念される。収入が悪いが経費がかかるという、スタグレーションのような状態になっている。業者の変更、マニュアル等の変更ということで対応していく。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>関係法規を基本とし、法令・設置基準等を遵守している。また、ISO 14001に基づき環境保護等に配慮した教育を行っている。</p> <p>法令の中でプライバシーをどこまで守れるかということが重要である。実際にコロナ感染者が学内に発生し、出欠および公欠者の把握についてプライバシーを守りながら、週一回の朝礼またはメールで随時、共有し、学生が完治して戻ってきやすい環境づくりに配慮している。</p> <p>ハラスメント研修を受け、ハラスメント事案が起きないようにしている。学生からの授業アンケートでもハラスメント関連の苦情はみられなかった。</p>
<p>基準10 社会貢献</p>	<p>教職員は、本校の教育資源を社会貢献や地域貢献に活用できるよう自覚を持って行動している。</p> <p>【現状と問題点】</p> <p>本校は池尻町内会に所属しており、近隣住民を対象とした健康講話や試食会を行う「街づくり交流会」を毎年開催している。高齢化する地元住民にとって、学校や学生との交流は非常に感謝されている。</p> <p>・公開講座としてスキルアップアカデミー講座、長寿健康ベターエイジング研究所主催の各種セミナー、講演会等を定期的実施している。引き続き「食と健康」の情報発信源として社会から高い評価が得られるよう、より一層の努力を継続していきたい。</p> <p>【改善のための方策】</p> <p>・本校をより多くの方々に知っていただくよう、社会貢献活動を通じて地域の皆様の健康増進と健康寿命延伸の一翼を担</p>

つていきたい。

・社会貢献についてはコロナ禍で苦勞している。コロナ禍の影響で外に出られなかったこともあり、表立った貢献はできなかった。空き時間の施設利用の継続に加え、世田谷区の社会福祉協議会様と共同のボランティア活動の募集等も始めている。